



住みやすい町を目指して...①9

健康づくりの源は山歩き!

金時山、12年と172日で登頂4000回

菊地 正治 (茶屋在住) さん

昔話の金太郎で知られる金時山、10月3日に「前人未到の登頂4000回記録」を達成した菊地正治(77歳)さんは、金時山への登頂が日課とのことで、大雨の日も雪の日も登頂時の達成感を励みに多い年は、年間350日ぐらい登ってきたそうです。今年の3月、「上皮がん」の手術を乗り越えての大記録達成! その軌跡について伺いました。

(聞き手: 飯田一)

Q 金時山登頂のきっかけは。

A 定年後、町内を散歩している時に毎日見ている山だから、1回は登りたいと思っていた。

Q 初めての登頂年月日と経路は。

A 平成14年4月15日、64歳の時に御殿場線足柄駅から3時間半かけて登った。その後、足柄峠まで車で行けることが分かってからは、1時間程で登れるようになり、回数も次第に多くなっていった。

Q 箱根町の金時神社や仙石原からは登らないのですか。

A 雪で足柄峠まで行けない時や、旅館に泊まってゆったりしたい時などは登るが、大半は足柄峠から。

Q 危険な出来事は。

A 雪の日に、カーブで車の操作がうまくできず崖から落ちそうになったことが2回あった。

Q 登頂をやめたくなったことは。

A 親しい登山仲間が、脇道で滑落事故によって亡くなったことがショックで登れなくなってしまったが、妻の励ましで再起できた。

Q 山頂での気分は。

A 登頂した時の達成感と早朝の景色を楽しみに、午前

3時半頃に自宅を出発、富士山や箱根山・丹沢山塊など360度の絶景と朝焼けは最高。

Q 「がんの告知」を受けた時の心境は。

A 健康だったので大きなショックを受けた。早期発見のため気持ちを切り替え、再び金時山へ登る目的をもち、手術後のリハビリに臨んだ。

Q 町民の方に伝えたいことは。

A 健康で過ごせることは幸せなこと。健康を維持するには、人目を気にせず自分に合った運動をすること。私の場合は、金時山のお陰で心と体が丈夫になったので、「上皮がん」を克服することができた。今後は体力に合わせて、回数を減らしながら5000回登頂を目指したい!



金時ねえさん自筆の4千回登頂証を手に!
(H26.10.3 AM5:45 大記録達成)

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています! 第4回定例会は12月3日(水)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報委員会
鈴木 眞徳	齋藤 永	小澤 啓司	利根川 茂	石内 浩	飯田 一	

遠くの花々が澄みきった青空に映える季節となりました。先般の9月定例会では、一般会計や特別会計決算9件を認定しました。新町長に代わり1年が過ぎましたので、新たな政策や予算が議会上へ上程され、真剣な討議が予想されます。生の声を聴きに、議会を傍聴してみませんか。広報委員会では、その声をなるべく簡潔に、正確にお伝えするために、正層かんばりますので、議会広報への皆様のご意見をお寄せください。(齋藤)

